

対象はあなたかも！よく読んでね

麻しん風しん 3つの新規予防接種



▷問い合わせ 健康づくり係
(☎223局3533)

桜の花も見頃を迎え、暖かで清々しい季節になってきました。

芦屋町では、この4月から麻しん（はしか）・風しんの予防のために、次の3つの予防接種事業を開始します。対象者はこの機会にぜひ、接種してください。

2 風しん予防接種助成事業

妊娠中の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが耳・目・心臓などに障がいを持つ先天性風しん症候群という病気にかかることがあります。これを予防するために、風しんの抗体価が低いことが判明した①妊娠希望者、②妊娠希望者や妊婦の配偶者（パートナー）・同居者を対象に、風しん予防接種費用の一部を助成します。

接種に係る自己負担額は3000円です。

※生活保護受給者や、町民税非課税世帯の人は無料

ただし、②の対象者で妊婦や抗体価が高い妊娠希望者の人は対象外です。

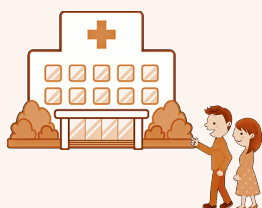
手続きの手順は下記の通りです。

①抗体検査実施医療機関で県事業の風しん抗体検査を受ける。

※過去に県の抗体検査を受け、免疫があることが分かっている人は県の抗体検査の対象にはなりません。

②抗体検査の結果を役場健康・こども課に持って来て、風しん予防接種の予診票を受け取る。

③予診票を持って、予防接種実施医療機関で接種する。



1 児童福祉施設等職員への 麻しん予防接種助成事業

0歳の乳児から小学校入学前の幼児までが利用する、児童福祉施設などでの乳幼児の麻しんの感染拡大を防ぐため、町内の児童福祉施設などに勤務する人を対象に麻しん予防接種費用の一部を助成します。

接種に係る自己負担額は3000円です。

ただし、過去に麻しん予防接種（風しん・おたふくかぜ混合ワクチンも含む）を2回受けたことが明らかな人、または、麻しんにかかったことが明らかな人は対象外です。

対象者には、施設を通じて接種場所・接種の手順などの詳細をお知らせします。

予防接種を受けて
皆を守ります♥



①・②は、平成31年4月1日～2021年3月31日までの2年間の実施です。

芦屋町人権・同和教育研究協議会



外国人の人権

近年、日本に入国する外国人は長期的に増える傾向にあります。日本政府観光局によると、2018年の訪日外国人旅行者数は、昨年より8.7%増加し、約3119万人と過去最高となっています。また、2020年の夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決まったこともあり、外国人と接する機会は今後益々増加することが予想されます。

しかし、このような状況の中、言語、宗教、文化、習慣などの違いから、外国人をめぐるさまざまな人権問題が発生しています。

例えば、外国人であることを理由に、アパートへの入居を拒否されたり、理容店で外国人であることを理由に理容サービスの提供を拒否されたりといった事案が生じています。また、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動が公然と行われていることが、マスコミなどによって「ヘイトスピーチ」であるとして取り上げられている状況です。

これらの問題を解決し、共に生きる社会を築くためには、さまざまな国の文化や習慣の違いを、外国人と日本人お互いが受け入れ、理解し合う努力が大切です。お互いの文化などの多様性を認め、外国人の生活習慣などを理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとるようにしましょう。

私たちにとって外国人は身近な存在となっています。まずは、あいさつなど声をかけ合う気軽なコミュニケーションから始めてみませんか。



▷問い合わせ 社会教育係 (☎ 2 2 3 局 3 5 4 6)



3 風しんに対する追加的対策

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性は、今までに風しんの定期予防接種の機会がなく、抗体保有率もほかの年代に比べて低いことから、2022年3月までの3年間、以下のとおり定期予防接種を行います。

- ① 風しん抗体検査（無料）を受ける。
- ② 抗体価が低い人に定期接種として風しん予防接種（無料）を行う。

※風しん予防接種の際には、抗体検査の結果を提出することが必要です。

なお、対象者の多くが働く世代の男性であることから、特定健診や事業所健診でも抗体検査を実施できるように体制を整えていく予定です。

対象者には、風しんの抗体検査と予防接種のクーポン券を送付します。発行時期が決まったら広報あしややホームページでお知らせします。

詳しくは、問い合わせてください。

風しんの
抗体検査と予防接種
クーポン券見本

クーポン券を使って
気軽に検査・接種を
しましょう。

